

能登教区通信

このたび、標記通信2018年7月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2018年7月21日(土) 午後2時～4時
- ・講 師 山本龍昇氏(大聖寺教区上宮寺)
- ・講 題 「諸仏を見たてまつるとき」
- ・参加費 500円

◆暁天講座◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2018年8月1日(水)～5日(日) 午前5時～6時
- ・講 師 1日 直林 真 氏(第2組仰信寺)
2日 松下 文映 氏(第10組往還寺)
3日 二俣 正信 氏(第11組聖安寺)
4日 山形 宗立 氏(第10組教忍寺)
5日 日野 尚法 氏(第3山方組徳満寺)
- ・テーマ いま、どんなつながりを生きているの？
- ・備 考 講義後に、軽食(パンと飲み物)をご用意いたします。

◆夏の子どものつどい◆ 青少幼年部門

- ・日 時 2018年8月21日(火)～23日(木)
- ・会 場 石川県健康の森(輪島市三井)
- ・対 象 小学4年生～中学3年生
- ・参加費 7,000円
- ・備 考 荒天の場合、中止となることがございます。ご了承ください。
詳細は同封の案内をご覧ください、7月27日(金)までにお申し込みください。
ポスターを掲示の上、広くご門徒や有縁の皆様に周知くださるようお願いいたします。

教化事業・その他行事のご報告

◆大経講義◆ 研修部門

去る5月24日(木)から25日(金)にかけて本多弘之先生をお招きし、大無量寿経講義が開催された。先生は、他所は出ないが能登教務所には25年間ご出講されているとお聞きしている。

今回は、第19願・至心発願の願が標題であった。この願の呼びかけが観経に対応していると御開山は解釈している。大乘の菩薩道を生きる事実を迷いとして、吟味していく苦を持っている。お釈迦様は「一切皆苦」と説かれた。煩惱がある。本当は苦の命なのだ、諸行無常なのだと見抜かれた。生もまた苦

である。苦のない場所が欲しいと、比較する煩悩が濁らせてくる。「無我の世界」をさしあたって、努力してみよう、方便してみようと、生きている時は何とかしようとしている「我執」である。命終の時、矛盾が解ける、第19願の呼びかけである。観経に対応していると御開山が了解してくださってある。

死んでいく命を共に生き、本来ある命に背いて生きている。現在ある「今」に背き、迷いの「今」を生きている。個人にはそれぞれの歴史がある。それぞれの迷いの歴史を「邪定聚の機」双樹林下往生として受け止め、自力の世界から阿弥陀如来が成り立つ、他力をいただける、聖道門と矛盾せずに自我が自我を削り取っていく。禅と念仏が矛盾しないと、天台大師智顗も阿弥陀如来を信仰していた。我々は自分に気付かされているが、それで終しまいにしてしまう。自我意識が死ぬまで働いている。生命は生きているし、熟睡しても自我意識が生きている。その自我意識を抱んで本願力が働きかけてくる。自我意識からの解放、自分が中心でない、「十方衆生」と呼びかけて下さって私ではない。ここは「仮」の場所だよ、自我の立つことの出来ない中毒だよ、「横超」本願に出会ってくれ、本願力に生きてくれと、第18願念仏往生の願に誘引する為の願であった。

至心に発願していき、迷いの自分が矛盾しながら矛盾しない、本来帰るべき命に気付いていく。大悲の願に気付く、煩悩にまなこへさえられて、呼びかけてくる本願にまなこが破られていく。他力の中にありながら自力でしか生きられないと、自我が破られた時、「念仏往生」「選択本願」が了解していける第18願に導くために、作られてある願であると、頂くことの出来る2日間であった。

やさしい語(ことば)で聖典をくまなくお話しされ、広く深くご講義くださった本多先生に、お元気でまた来年もお会いできることを願っている。
〈第2組 長永寺 重藤 明 記〉

◆教区男女平等参画・教区坊守会差別問題研修会◆

去る5月29日(火)に能登教務所において大窪祐宣氏(第2組柳瀬専勝寺住職)を講師にお迎えし、同朋社会推進協議会と坊守会との合同研修会が行われました。「人権問題についての意識・実態調査」の中にある変成男子の講義を受けた後、2班に分かれて座談会がありました。

私は、幼いころから「これは“男の仕事”“女のすること”」と教えられてきました。結婚してからは、「“住職の仕事”“坊守の仕事”」などと分けて考えていました。

しかし、今社会は男女平等が叫ばれています。仏教会でも徐々に「平座」精神に基づいた同朋社会の顕現の実行が願われていることです。男女平等参画でなければ実現しないと教えられました。

迷信や慣習が大きく関与している女性差別を考えると、家庭でも話し合い、問い続けることが大切だと学びました。
〈第3山方組 照願寺 坪井 克世 記〉



◆北陸雅楽大会◆雅鳳会

去る5月31日(木)、済美精舎本堂で北陸雅楽大会が開かれた。北陸雅楽大会は、真宗大谷派の教区や別院と関係のある能登・金沢・小松・高岡(砺波)地区の雅楽団体が一堂に会して開かれる、合同発表会のようなもの。

会場は先述の4つの地区の持ち回りで、今年は能登地区(雅鳳会)が開催当番となった。参加者は36名(内、雅鳳会は12名)で、日頃の稽古の成果を披露した。

雅鳳会は浄土莊嚴としての雅楽曲の演奏を目指して、3月～11月まで毎月2回稽古会を開いており、新規入会者を募集している。
〈雅鳳会会長 松下 春樹 記〉

◆第47回 能登教区同朋大会◆ 総合教化本部

去る6月3日(日)、済美精舎(能登教務所)において、476名の参加者のもと第47回能登教区同朋大会が開催された。

昨年に引き続き「つながりの再生」をテーマとし、「私自身が抱えている不安や寂しさ、苦しみという心の闇を見つめ、本当に求めているつながりとはいったい何なのか、そのことをともに尋ねてみましょう(開催趣旨文より)」という趣旨のもと、

「つながりって何?」というサブテーマを掲げた。

午前中には、初の試みとして、教化活動報告が行われた。小山光王さん(第4組常德寺門徒・推進員)、畠山義邦さん(第10組専念寺住職・組長)、谷内都さん(第1組慶専寺坊守)、松下春樹さん(教区教化委員会時代社会部長)と篠原博さん(同部員)がそれぞれの現場での活動について発表した。参加者からは、「様々な取り組みがされていることを初めて知った」「具体的な活動を聞きくことができて良かった」「環境が違うので同

じことは出来ないが、自分たちでできることから始めてみようと思った。」との感想が聞かれた。

引き続いて教区合唱団と参加者による仏教讃歌の合唱、昼食を挟み午後には黒田進氏(長浜教区満立寺前住職)を講師に迎え講演を行った。黒田氏からは、社会で起こっている具体的な事例を挙げ、「地縁」「血縁」「法縁」の3つのつながり、それらのつながりがあることを教えてくださるのが仏法である」とのお話をいただいた。参加者からは「つながりを感じることは嬉しいこと」「つながりによって生かされている。これからも大切にしていきたい」「現実的には家庭や地域のつながりをもつことは難しい」との感想が聞かれた。

同朋大会に関するアンケートの中に「年々、参加者が減って寂しい」という回答が多くあった。年齢的な理由で、参加自体が難しい、同朋大会のプログラムの時間配分やイスなどの設備の改善を求める声が寄せられた。同朋大会の開催目的を再度確認し、より多くの方に参加いただけるよう教化委員会として検討していきたい。



(小山さん)



(谷内さん)



(黒田先生)

本山・教区事務についてのご連絡

◇2019年宗務役員の募集について◇

下記のとおり募集いたしておりますので、関心のある方は一度教務所までお問い合わせください。

- ・勤務先 真宗大谷派宗務所各部門、東京宗務出張所または教務所、海外開教監督部その他
- ・応募資格 ①18歳以上～27歳まで(2019年4月1日現在)で、高等学校卒業または同等以上の学力を有すると認められる者。

※2018年6月1日現在において真宗大谷派の事務嘱託を満2年以上経験しているものに限り34歳(ただし、2019年4月1日現在)までとする。

②真宗大谷派の僧侶または門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)

詳細な募集要項及び応募書類については、宗派ホームページよりダウンロードいただくか、教務所までお問い合わせください。

◇本山経常費完納寺院◇(2018.5.1～5.31迄)

2017年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	了念寺	極樂寺	鵜川組	光明寺	光樂寺	専順寺
第3浜方組	淨蓮寺		第12組	三忍寺		
第7組	正圓寺	照念寺	善龍寺	第13組	正願寺	
	長誓寺					

◇住職就任◇(教区通信6月号 掲載以降)

第1組 正明寺 達伊 智頭 2018年5月28日

◇代務者就任◇(教区通信6月号 掲載以降)

第7組 明照寺	第7組 淨明寺住職	崖 啓互	2018年6月7日
第2組 正行寺	第2組 柳瀬専勝寺住職	大窪 祐宣	2018年6月27日

◇敬弔◇(教区通信6月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第5組 福善寺	前坊守 梅原 三子	2018年5月26日
鵜川組 長龍寺	前坊守 篠原 順子	2018年6月16日

◇能登教区における「人権問題についての意識・実態調査」報告書について◇

教区同朋社会推進協議会

3月号に同封いたしました標記報告書について、組や寺院の学習会等で是非ともご活用いただきたく改めてお知らせいたします。尚、追加配布をご希望の場合は当協議会委員までご連絡ください。

◇出版部通信員◇

第10組 本龍寺 三牧 準 2018年7月1日～2020年6月30日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ	ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう
能登教区教化スローガン	一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

能登教区ホームページアドレス(2018年4月よりリニューアルされました)

新URL: <http://ohigashi-noto.jp/>